

令和3年度 阪本小学校外部評価報告書
評価委員：安西委員長 塚越委員、今野委員、田村委員、本橋委員、山田委員、江本委員 坂間委員 石橋委員 報告書作成者：坂間委員
評価時期 令和4年1月27日
<p>・コロナ禍の影響で、学校内の様子が保護者に伝わりにくい大変な年だったと推察している。その中でも、学校だより、学年だより、Google Classroom 等を通じて、多くの情報を、保護者と共有する取り組みをしてくれたことに大変感謝している。</p> <p>1 重点目標の評価</p> <p>&lt;重点目標1について&gt;</p> <p>・全校児童に一人一台タブレット端末が配布されたと聞き、プログラミング教育を推進していた阪本小学校ではどの程度活用されているのかと思ったが、実際に授業で活用している様子がわかり、これまでの積み重ねが生かされていることに感心した。</p> <p>&lt;重点目標2について&gt;</p> <p>・学校経営方針を見ると、子どもたちの日常、心を大切にしていることがうかがえる。</p> <p>・全教職員の力を結集し、児童に問題が発生したときに早期に発見、報告し、組織的に解決することが明記されているが、大切なことだと思う。</p> <p>・不登校の問題については、「学校は誠意とスピード感をもって組織的に対応する。子どもの立場に立って全力をもって解決に向けて努力する。」とあるが、それぞれ相手もあり難しいことをここまではっきりと言ってもらえれば、子どもの親として大変心強いことと思う。</p> <p>&lt;重点目標3について&gt;</p> <p>・日本の伝統文化理解教育を始め、特色ある教育活動の推進など、成果が上がっている。今年度は伝統文化理解教室を学校公開で保護者に見てもらう機会があり、阪本小学校の特色ある教育に対する理解が深まったと思われる。</p> <p>2 今後の改善に向けた意見</p> <p>・日頃の「あいさつ」を通じて思いやりの心と友達との信頼感、協力関係を築くことを重要視していることに感銘を受けている。昨今のあいさつに対する意識は一般社会においても大変薄れてきており、学校教育による意識の改革に期待したい。</p> <p>・保護者アンケートの中で、保護者の学校教育活動への参加に関するものがあつたが、PTAも反省しなくてはならない点があると思っている。どのような状況下でも、保護者が学校教育に関わっていけるよう考えていきたい。</p> <p>3 その他の意見</p> <p>・新型コロナウイルス感染拡大防止対策など、学校経営も大変だと思われる。先生も児童も「阪本小学校で過ごせてよかった。」と思えるような笑顔あふれる学校であることを願っている。</p>